

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	地域創生部	担当課名	スポーツ振興
-------	-------	------	--------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ 基本目標－戦略－政策－施策
アーチェリーを活用した地域活性化拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ・射場改築 ・屋内型サフィールド新築 ・クラブハウス新築 	0	-

事業概要

体力や年齢を問わず、誰もが生涯スポーツとして楽しむことができるアーチェリーを核として、「スポーツを通じた健康づくり」を促進し、活力ある地域を創出するため、既存アーチェリー場の改修を行い、利用環境の充実やVR/AAR化を図る。

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1		KPI2		KPI3		KPI4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	0	人	2,600	人	0	千円		
		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月	
		2018	年 3 月	2018	年 3 月	2018	年 3 月	※西暦	
KPIの目標設定	イ. 令和元年度以前(前)の事業のみ ク. 令和元年度増加分	0	人	0	人	0	千円		
	カ. 令和2年度以前(前)の事業のみ ク. 令和2年度増加分	80	人	400	人	810	千円		
	キ. 令和3年度以前(前)の事業のみ ク. 令和3年度増加分	20	人	400	人	204	千円		
	ク. 令和4年度以前(前)の事業のみ ク. 令和4年度増加分	20	人	400	人	204	千円		
	コ. 令和5年度増加分	20	人	400	人	204	千円		
シ. 上記キ〜サ累計 (自動表示)		140	人	1600	人	1422	千円		
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績値をご記載ください。</small>	イ. 令和元年度以前(前)の事業のみ ク. 令和元年度増加分の実績値	0	人	0	人	0	千円		
	カ. 令和2年度以前(前)の事業のみ ク. 令和2年度増加分の実績値	0	人	641	人	510	千円		
	キ. 令和3年度以前(前)の事業のみ ク. 令和3年度増加分の実績値	0	人	3,277	人	373	千円		
	ク. 令和4年度以前(前)の事業のみ ク. 令和4年度増加分の実績値	0	人	4,636	人	71	千円		
	コ. 令和5年度増加分の実績値	0	人	1,429	人	-11	千円		
ナ. 実績累計(イ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	④目標値に対する達成度合い	0%	④目標値の達成は5割未満	357%	①目標値を達成	-5%	④目標値の達成は5割未満	%	
	実績値 [単位]	0人	9983人	943千円	実績値 [単位]				
		0%	④目標値の達成は5割未満	624%	①目標値を達成	66%	③目標値の5割以上達成	%	
		宿泊棟の閉鎖、県外からの参加者が見込まれる大会等を招致できなかったため		地域クラブなどの定期利用や、県内大会の実施により、堅調に利用者数を伸ばすことができたため		地域クラブの定期利用や、県内大会の定期開催により安定した利用料収入を得られたが、個人利用や県外利用者を増やすことができなかったことが影響しているものと推察される。			

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブや県内大会の安定的・継続的な実施により、競技人口の拡大、県内アーチェリー施設の拠点となることで、地域の活性化に寄与 ・また、夜間照明、屋内練習場、更衣室、トイレ等の整備により、高齢者、会社員、学生など様々な人の利用が可能となり、アーチェリーを通じた交流の拠点化に繋がった。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
⑤予定通り事業終了	施設整備が完了したことから、事業自体は終了する。なお、引き続き競技団体と協力し、大規模大会や県外団体の合宿などの招致が実施できれば更に地方創生への効果が発揮できると思われる。

①追加等に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
②（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	<p>KPI②の施設利用者数については、目標値を大きく上回っており、分析されているとおり、県内大会の安定的・継続的な実施により競技人口の拡大等の一定の効果があったと思われるが、その点は設定したKPIからは読み取ることができない。</p> <p>一方で、KPI③の利用料収入は全期間において目標を達成できておらず、KPI①の県外からの合宿誘致については1件も実施されていない。KPI②の施設利用者数が達成しているにもかかわらず、KPI③の施設利用者数が大きく未達である理由については読み取ることができない。</p> <p>事業の目的（競技人口増や地域活性化）に対して、アウトカムであるKPIの設定について検討の必要があったのではないかと懸念する。また、「施設整備が完了した」ということをもって事業終了とされているが、不確量化となることがないよう引き続き各KPIの達成に励んでいただきたい。</p>

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要 [全員]

担当部署名	産業経済部	担当課名	地域企業支援課（繊維工業試験場）
-------	-------	------	------------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (交付金対象事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ 基本目標－戦略－政策－施策
次世代繊維産業支援施設整備	・人工学評価室の新設整備	0	-

事業概要

本県の繊維産業をより高度なものへと進化させるため、特に次世代産業分野をターゲットとして、人工学に基づく感性的価値の向上による高付加価値製品の開発のための先導的な技術支援機能の強化に取り組む。

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	商品化件数	依頼試験手数料	技術相談件数	
		当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]
		0 件	0 万円	0 件	
KPIの目標値設定	カ. 施設整備計画の申請時点	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月
		2018 年 3 月	2018 年 3 月	2018 年 3 月	
		※西暦	※西暦	※西暦	※西暦
		目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]
		0 件	0 万円	0 件	
		1 件	80 万円	100 件	
KPIの実績値	キ. 令和元年度以前の実績値	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]
		2 件	70 万円	50 件	
		3 件	70 万円	50 件	
		3 件	80 万円	50 件	
		9 件	300 万円	250 件	
		実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]
0 件	0 万円	0 件			
ナ. 実績値累計 (ア) の目標達成・未達理由	ク. 令和2年度以前の実績値	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]
		1 件	99 万円	101 件	
		2 件	59 万円	290 件	
		5 件	148 万円	149 件	
		4 件	57 万円	119 件	
		12 件	363 万円	659 件	
ニ. KPI増加分の累計 (実績)	ケ. 令和3年度以前の実績値	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
		133 % ①目標値を達成	71 % ②目標値の7割以上達成	238 % ①目標値を達成	%
		目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
		133 % ①目標値を達成	121 % ①目標値を達成	264 % ①目標値を達成	%
		事業の効果により、12件の新しい繊維関連商品が生まれた。	コロナ禍があり、年度ごとについていたが、職員が丁寧に対応したため、リピートの利用があった。	相談者に対して施設の説明を適切に行った。結果、すべての年度で目標を達成した。	
		事業の効果により、12件の新しい繊維関連商品が生まれた。	コロナ禍があり、年度ごとについていたが、職員が丁寧に対応したため、リピートの利用があった。	相談者に対して施設の説明を適切に行った。結果、すべての年度で目標を達成した。	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
①地方創生に非常に効果的であった	令和2年春から令和5年春まで続いたコロナ禍により、繊維業界自体は一定のダメージを受けた。しかし、本事業により、繊維産業における新しいビジネスモデルの構築や、新商品の開発について支援できた。引き続き、繊維産業を活性化させる取組を実施する。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合
⑤効果の有無はわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	本事業で導入した人工学評価室の新設整備は、令和6年度も活用し利用されている。KPIとして設定した商品化件数と依頼試験金額とは、適切な目標と考えられる。また、技術相談件数については、職員一人ひとりが丁寧に対応できている。これらのことから、今後もKPIにこだわらず、設備を活用して地域繊維産業の技術開発に貢献する。

- ①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
- ②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
- ③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
- ④事業の中止
- ⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	実績の累計においてすべてのKPIで目標値を達成しており、各年度についてもほとんどで目標値を達成している。特に本事業が高付加価値商品の開発促進を目的としていることを考えると、商品化件数（KPI①）、その前段たる技術相談件数（KPI③）を達成できていることから、本事業がKPI達成に有効であったと考えられる。なお、感性的価値の向上による高付加価値製品のようなもの、また実際に商品化した製品が高付加価値製品であったかどうかまで考慮したKPI設定であると評価検証しやすかったと考える。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	知事戦略部 総務部	担当課名	デジタルトランスフォーメーション戦略課 財産有効活用課
-------	--------------	------	--------------------------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標－戦略－政策－施策
Gunma Innovation Top Floor整備事業	・Gunma Innovation Top Floor インノベーションハブ整備 ・Gunma Innovation Top Floor インノベーションハブ備品整備	0	2-4-4-(2) 創業・事業承継支援

事業概要

官民共創により新たな事業の創出及び地域課題の解決を図り、もって社会の変革につなげていく拠点として「NETSUGEN」を運営

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	→ イノベーションハブで開催されるセミナー、イベント等の件数	→ 群馬県庁32階の来場者数	→ 地域課題解決ラボトリーによる実証事業実施件数	
		当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 198,670 人	当初値 [単位] 0 件	
KPIの目標値設定	(令和元年度以前の事業のみ) ク. 令和元年度増加分	→ 29 件	→ 20,000 人	→ 10 件	
	(令和2年度以前の事業のみ) ケ. 令和2年度増加分	→ 48 件	→ 50,000 人	→ 10 件	
	(令和3年度以前の事業のみ) コ. 令和3年度増加分	→ 24 件	→ 40,000 人	→ 10 件	
	(令和4年度以前の事業のみ) サ. 令和4年度増加分	→ 24 件	→ 40,000 人	→ 10 件	
	シ. 上記キ～サ累計 (自動表示)	→ 125 件	→ 150,000 人	→ 40 件	
KPIの実績値	(令和元年度以前の事業のみ) ソ. 令和元年度増加分の実績値	→ 38 件	→ 101,441 人	→ 11 件	
	(令和2年度以前の事業のみ) タ. 令和2年度増加分の実績値	→ 114 件	→ 28,477 人	→ 16 件	
	(令和3年度以前の事業のみ) チ. 令和3年度増加分の実績値	→ 198 件	→ 48,302 人	→ 16 件	
	(令和4年度以前の事業のみ) ツ. 令和4年度増加分の実績値	→ 11 件	→ 43,907 人	→ 17 件	
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	→ 361 件	→ 222,127 人	→ 60 件	
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))		KPI1は年間の開催件数を計測しているため、累計値=R5年度の開催件数となる。会員数等が増加し続けており、セミナー、イベントの需要も高まり続けている。 KPI2は年間の来場者数を計測しているため、累計値=R5年度の来場者数となる。NETSUGENの利用が好調にたため、来場者数のKPI目標値を達成できている。 KPI3は累計の開催件数を計測しているため、R5年度の実績値=R5年度の実施件数となる。本事業も4年目となり市内での認知が上がり、相談件数及び実績も伸びている。			

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
①地方創生に非常に効果的であった	イノベーションハブで開催されたセミナー・イベント数は増加の一途を辿っており、KPI目標値を大幅に超えた成果を達成している。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した。もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	官民共創スペースの必要性はさらに高まっており、スペースの増加などを含め継続して事業拡大を行っていくため。

①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	すべてのKPIについて累計で目標値を達成しており、イノベーションハブの整備が、KPI達成に有効であったと考えられる。引き続きNETSUGENを活かした官民共創の推進に取り組んでいただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	農政部	担当課名	畜産課（畜産試験場）
-------	-----	------	------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標－戦略－政策－施策
酪農生産性改革研究施設整備	・搾乳牛舎の増設整備 ・堆肥処理施設の改修整備 ・乳牛育成牛舎整備	0	2-4-1-(1) 園芸・畜産の収益力強化

事業概要

本県酪農経営の平均的な規模において、省力的で生産性向上が可能なモデル施設を整備し、研究および実証拠点とする

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	牛群(経産牛)1頭当たり年間生乳生産量	分娩産子のうち乳用雌牛分娩割合	牛群(経産牛)の1頭当たり分娩間隔日数	
		当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]
KPIの目標値設定	ウ. 令和元年度増加分 エ. 令和2年度増加分 イ. 令和3年度増加分 ロ. 令和4年度増加分 ハ. 令和5年度増加分 ニ. 上記キ〜ヘ累計(自動表示)	9,300 kg	48 %	466 日	
		計測年月	計測年月	計測年月	計測年月
		2019 年 3 月	2019 年 3 月	2019 年 3 月	
		※西暦	※西暦	※西暦	※西暦
		目標値(増分) [単位]	目標値(増分) [単位]	目標値(増分) [単位]	目標値(増分) [単位]
KPIの実績値	※見込みではなく実績をご記載ください	実績値(増分) [単位]	実績値(増分) [単位]	実績値(増分) [単位]	実績値(増分) [単位]
		0 kg	0 %	0 日	
		0 kg	0 %	0 日	
		57 kg	3 %	0 日	
		57 kg	2 %	-10 日	
KPIの実績値	※見込みではなく実績をご記載ください	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
		907 % ①目標値を達成	0 % ④目標値の達成は5割未満	340 % ①目標値を達成	%
		実績値(増分) [単位]	実績値(増分) [単位]	実績値(増分) [単位]	実績値(増分) [単位]
		574 kg	3 %	-34 日	
		目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
ナ. 実績値累計(円)の目標達成・未達理由(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))		精密な飼養管理の実施により生乳の生産性が向上した。	分娩頭数の増加(R5:58頭、R3:51頭)により乳用雌牛分娩割合の数は低下したが更新に必要な乳用雌牛29頭は確保している。今後もICTを活用し後継雌牛を確保していく。	ICT、IoT技術の活用により分娩後の適切な管理により分娩間隔が短縮した。	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
③地方創生に効果があった	ICT、IoTを活用した大幅な自動化を行い、省力・低コスト生産による働き方改革と収益の向上を図るための技術開発拠点の整備ができた。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
⑤予定通り事業終了	酪農における長時間労働の解消・後継牛確保・所得向上を図るための試験研究を継続し、畜産業の省力化、効率化による働き方改革を実現し、魅力のある酪農経営モデルを示すことにより、地域の活性化に資するものとする。

①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	本事業が生乳の生産性改革を掲げているものであることから、最も重要なKPIはKPI①であると推察され、KPI①について目標を達成している。牛1頭あたりの生乳生産量においてはは母である牛の頭数の減少もKPI①に対してプラスの効果を持つため、すべてを本事業の効果と断言することは難しいが、KPI③の分娩間隔の削減と合わせて、本事業に一定の効果があったと考える。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	産業経済部	担当課名	地域企業支援課（繊維工業試験場）
-------	-------	------	------------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標－戦略－政策－施策
次世代繊維対応型開発・評価空間整備事業	・化学試験室整備 ・空間除電システム環境整備	0	2-4-3-(1) 研究・技術開発支援

事業概要

機能性が与えられた織物の製品試作に必要な作業施設整備と、機能性評価項目として新たに追加する消臭性等の化学試験に関する安全作業空間の整備

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	商品化件数 当初値 [単位] 2 件 計測年月 2019年3月	依頼試験手数料 当初値 [単位] 6,264 千円 計測年月 2019年3月	技術相談件数 当初値 [単位] 0 件 計測年月 2019年3月	当初値 [単位]
	KPIの目標値設定	イ. 令和元年度増加分 当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 0 千円	当初値 [単位] 5 件	当初値 [単位]
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	ウ. 令和2年度増加分の実績値	実績値 [単位] 0 件	実績値 [単位] 0 千円	実績値 [単位] 5 件	実績値 [単位]
	エ. 令和3年度増加分の実績値	実績値 [単位] 1 件	実績値 [単位] 250 千円	実績値 [単位] 5 件	実績値 [単位]
	オ. 令和4年度増加分の実績値	実績値 [単位] 1 件	実績値 [単位] 250 千円	実績値 [単位] 5 件	実績値 [単位]
	カ. 令和5年度増加分の実績値	実績値 [単位] 1 件	実績値 [単位] 250 千円	実績値 [単位] 5 件	実績値 [単位]
	キ. KPI増加分の累計（実績）	実績値 [単位] 3 件	実績値 [単位] 750 千円	実績値 [単位] 20 件	実績値 [単位]
ナ. 実績値累計（ア）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	イ. 令和元年度増加分の実績値	実績値 [単位] 0 件	実績値 [単位] 0 千円	実績値 [単位] 5 件	実績値 [単位]
	ウ. 令和2年度増加分の実績値	実績値 [単位] 2 件	実績値 [単位] 673 千円	実績値 [単位] 8 件	実績値 [単位]
	エ. 令和3年度増加分の実績値	実績値 [単位] 1 件	実績値 [単位] 894 千円	実績値 [単位] 10 件	実績値 [単位]
	オ. 令和4年度増加分の実績値	実績値 [単位] 1 件	実績値 [単位] 1,168 千円	実績値 [単位] 13 件	実績値 [単位]
	カ. 令和5年度増加分の実績値	実績値 [単位] 1 件	実績値 [単位] 1,007 千円	実績値 [単位] 13 件	実績値 [単位]
		目標値に対する達成度合い 100 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い 403 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い 260 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い %
		実績値 [単位] 5 件	実績値 [単位] 3742 千円	実績値 [単位] 44 件	実績値 [単位]
		目標値に対する達成度合い 167 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い 499 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い 220 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い %
		事業を活用した新規の商品化が着実に達成された。	作業施設の整備の効果、及び消臭等の機能性評価への需要拡大により目標を達成した。	相談件数は増加傾向を示した。これは、事業が産地に浸透した結果と思われる。	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
①地方創生に非常に効果的であった	コロナ禍の影響で、世の中の消費行動や商品開発、生産等の動きが落ち込み中、本事業を実施したことで、KPIの目標値を達成するとともに、消臭性等の機能性を有する製品試作・商品化やその効果検証のための評価試験を実施することができた。このことから、利用者の増加に一定の効果があったものと思われる。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）	上述のように地域の繊維企業支援に効果的であったので、事業を継続する。 KPIの設定も妥当であり、引き続き設備を活用した技術支援に取り組み。

①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	すべてのKPIについて、各年度、累計とも目標値を達成しており、本事業が効果的であったと考えられる。最終年度についても引き続き目標値の達成を目指していただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	産業経済部	担当課名	地域企業支援課（産業技術センター）
-------	-------	------	-------------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県総合戦略上の位置づけ
			基本目標-戦略-政策-施策
機能材料開発研究室整備計画	機能材料開発研究室整備	0	2-4-3-(1) 研究・技術開発支援

事業概要

群馬県立群馬産業技術センターの環境技術開発体制を強化するため、微量濃度の環境負荷物質(その物質が排出されると環境汚染を引き起こす有害な物質)の分析評価に耐えるクリーンルームを整備し、企業の生産活動の中で発生する炭素分(*3)や硫黄分(*4)の測定が可能な開発拠点を整備する。

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	産業技術センター 環境技術開発関連の依頼試験等収入額 当初値 [単位] 千円 276 計測年月 2019年3月	産業技術センター 環境技術開発関連の外部資金獲得額 当初値 [単位] 千円 0 計測年月 2019年3月	産業技術センター 環境技術開発関連の技術相談件数 当初値 [単位] 件 96 計測年月 2019年3月	
	KPIの目標値設定	令和元年度増加分 当初値 [単位] 千円 0	令和元年度増加分 当初値 [単位] 千円 0	令和元年度増加分 当初値 [単位] 件 0	
		令和2年度増加分 当初値 [単位] 千円 1,750	令和2年度増加分 当初値 [単位] 千円 1,000	令和2年度増加分 当初値 [単位] 件 100	
令和3年度増加分 当初値 [単位] 千円 500		令和3年度増加分 当初値 [単位] 千円 1,000	令和3年度増加分 当初値 [単位] 件 25		
令和4年度増加分 当初値 [単位] 千円 500		令和4年度増加分 当初値 [単位] 千円 1,000	令和4年度増加分 当初値 [単位] 件 25		
シ. 上記キ～サ累計(自動表示) 当初値 [単位] 千円 2750		シ. 上記キ～サ累計(自動表示) 当初値 [単位] 千円 3000	シ. 上記キ～サ累計(自動表示) 当初値 [単位] 件 150		
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	令和元年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 20	令和元年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 0	令和元年度増加分の実績値 実績値 [単位] 件 5		
	令和2年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 3,817	令和2年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 1,750	令和2年度増加分の実績値 実績値 [単位] 件 649		
	令和3年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 -1,063	令和3年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 600	令和3年度増加分の実績値 実績値 [単位] 件 -512		
	令和4年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 346	令和4年度増加分の実績値 実績値 [単位] 千円 1,300	令和4年度増加分の実績値 実績値 [単位] 件 32		
	シ. KPI増加分の累計(実績) 実績値 [単位] 千円 3120	シ. KPI増加分の累計(実績) 実績値 [単位] 千円 3650	シ. KPI増加分の累計(実績) 実績値 [単位] 件 174		
ナ. 実績値累計(シ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	企業のR1ド利用などにより半年度での増加は未達なもの累計では達成した。 令和4年度の共同研究企業からの研究費増額や別テーマでの研究契約があった。 機器のノウハウ蓄積により対応対象が広がることによって、目標を達成した。				

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
①地方創生に非常に効果的であった	・クリーンルームである機能材料開発室の整備により、地場食品企業社内での廃棄物リサイクル研究の支援に活用するなど、指標②（外部資金）を達成した。 ・当研究室で硫黄含有樹脂の評価研究を行うことで、地域企業の技術相談他依頼試験の増加につなげることができ、指標①（依頼試験収入）及び指標③（技術相談）も達成した。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
⑤予定通り事業終了	・本事業による施設・機器整備はR2年度で完了しており、整備事業としては終了。 ・今後も、機能材料開発研究室を活用した高感度炭素硫黄分析をはじめ、環境技術開発分析のPRを行い、利用企業の増加を図る。また、分析事例を重ね、評価技術のレベルアップを図り、企業の環境調和型のものづくりを支援していく。

- ①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
- ②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
- ③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
- ④事業の中止
- ⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	いずれのKPIも累計で目標値を達成している。また、半年度でみると目標未達の年度もあるが、これは、実績が前年度からの増加分であり、R3年度の実績が目標を大幅に上回ったことの影響であると考えられる。技術相談件数、試験数とも増加していることから、研究開発拠点としての役割が強化されており、本事業が効果的であったと考えられる。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	農政部	担当課名	畜産課（畜産試験場）
-------	-----	------	------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標－戦略－政策－施策
黒毛和種改良研究・優良黒毛和種受精卵供給施設整備	・畜産試験場繁殖育成牛舎 ・畜産試験場堆肥舎	0	2-4-1-(1) 園芸・畜産の収益力強化

事業概要

1. 高能力受精卵の供給体制の拡充及び新鮮卵（無凍結）の供給拡大 2. 生産技術のDX体制の推進

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	群馬県の黒毛和種繁殖雌牛頭数	県内肉用牛農家へのICT機器導入戸数	黒毛和種受精卵の供給個数	
		当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]
		7,570 頭	30 戸	525 個	
		計測年月	計測年月	計測年月	計測年月
		2019 年 12 月	2019 年 12 月	2019 年 12 月	
KPIの目標値設定	(令和元年度以前の事業のみ) ア. 令和元年度増加分	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]
	(令和2年度以前の事業のみ) イ. 令和2年度増加分				
	(令和3年度以前の事業のみ) ウ. 令和3年度増加分	20 頭	0 戸	0 個	
	(令和4年度以前の事業のみ) エ. 令和4年度増加分	20 頭	4 戸	80 個	
	オ. 令和5年度増加分	60 頭	8 戸	80 個	
	シ. 上記キ～サ累計 (自動表示)	100 頭	12 戸	160 個	
KPIの実績値	(令和元年度以前の事業のみ) ヲ. 令和元年度増加分の実績値	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]
	(令和2年度以前の事業のみ) イ. 令和2年度増加分の実績値				
	(令和3年度以前の事業のみ) ウ. 令和3年度増加分の実績値	0 頭	0 戸	0 個	
	(令和4年度以前の事業のみ) エ. 令和4年度増加分の実績値	370 頭	4 戸	-94 個	
	オ. 令和5年度増加分の実績値	-230 頭	5 戸	-129 個	
	シ. KPI増加分の累計 (実績)	140 頭	9 戸	-223 個	
ナ. 実績値累計(シ)の目標達成/未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	本事業により生産された高能力の受精卵産子が積極的に保留されている。	県気悪化に伴い導入意欲が低下。	インバウンド需要の減少や、体外受精胚への補助金が出たことから需要が減少。高能力受精卵のさらなる増産に努める。		

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	計画策定時には予想できなかったコロナ禍によるインバウンド需要の縮小による子牛販売価格の大幅な下落が起きたことにより、KPIの目標値を達成することができなかったが、本事業により生産された高ゲノミック評価由来の産子が576万と488万で販売されたのを皮切りに、県内の渋川畜産市場で高ゲノミック評価の子牛の高値取引が頻発し、群馬県の取り組みが全国的に注目を集めており、群馬県の繁殖和牛改良に非常に貢献できた。
①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組と比べて前進・改善したと言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の使用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合
今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	渋川畜産市場での高値取引が増加することにより、群馬県のゲノミック評価を活用した取り組みは先進事例として全国各地から注目を浴びている。今後も高能力受精卵の供給体制の拡充を図り、優良牛の生産を増加することで、群馬県産和牛のブランド力強化を図るとともに、当場の効率的和牛生産のマニュアル化を行い、生産技術のDX体制の推進を図る。
②追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	
③事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	
④事業の継続（事業変更を伴わない継続）	
⑤事業の中止	
⑥予定通り事業終了	

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	繁殖用の雌牛の頭数（KPI①）は累計では目標値を上回っており、受精卵の供給体制が確保されている一方で、実際の受精卵供給量（KPI③）が目標値を下回っていることから、需要側の問題により目標が達成できなかったものと考えられる。そういう意味では、未達理由に記載のように受精卵を増産することが目標達成に資する点には疑問が残る。KPI②については、物価高、生産者減などの状況の中で、目標未達ではあるものの機器導入を進めており、一定の効果があったと考えられる。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	知事戦略部	担当課名	デジタルトランスフォーメーション戦略課
-------	-------	------	---------------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標-戦略-政策-施策
Gunma Innovation 2 Floors From The Top Floor整備事業	-Gunma Innovation 2 Floors From The Top Floor プチマルシェ	0	2-4-5-(1) 商業・サービスの振興
	-Gunma Innovation 2 Floors From The Top Floor キッチン		
	-Gunma Innovation 2 Floors From The Top Floor プチマルシェ 備品整備		
	-Gunma Innovation 2 Floors From The Top Floor プチマルシェ 什器		

事業概要

県庁31階に、様々な分野でチャレンジする人や企業を呼び込み、交流を通じた新たな価値の創造の支援を強化するために、D2C (Direct to Consumer) 等を展開するマーケットスペースと、農畜産等の本県の主力産業や飲食にも対応できる、野菜やフルーツ等の県産品を創作できるキッチンブースを整備する。これにより、新たな関係人口の流れをつくり、賑わいの創出につなげる。

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標 (KPI) の設定、及び成果の確認

		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
ア. 本事業における重要業績評価指標 (KPI) の名称	→	年間のマルシェ利用者数 (出店者を除く)	年間の出店件数	年間の県庁舎31階の来場者数	
	KPIの当初値	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 195,000 人	当初値 [単位]
	オ. 施設整備計画の申請時点	計測年月 2022 年 1 月	計測年月 2022 年 1 月	計測年月 2022 年 1 月	計測年月 年 月
KPIの目標値設定	→	※西暦 目標値 (増分) [単位]	※西暦 目標値 (増分) [単位]	※西暦 目標値 (増分) [単位]	※西暦 目標値 (増分) [単位]
	イ. 令和元年度以前(前年度)の増加分	人	件	人	
	ロ. 令和2年度以前(前年度)の増加分	人	件	人	
	ハ. 令和3年度以前(前年度)の増加分	人	件	人	
	ニ. 令和4年度以前(前年度)の増加分	2,000 人	100 件	10,000 人	
	ホ. 令和5年度増加分	200 人	20 件	10,000 人	
ヘ. 上記キ〜セ累計 (自動表示)	目標値 (増分) [単位] 2200 人	目標値 (増分) [単位] 120 件	目標値 (増分) [単位] 20000 人	目標値 (増分) [単位]	
KPIの実績値	→	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]
	イ. 令和元年度以前(前年度)の実績値	人	件	人	
	ロ. 令和2年度以前(前年度)の実績値	人	件	人	
	ハ. 令和3年度以前(前年度)の実績値	人	件	人	
	ニ. 令和4年度以前(前年度)の実績値	0 人	0 件	0 人	
	ホ. 令和5年度増加分の実績値	34,509 人	177 件	140,710 人	
ヘ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値に対する達成度合い 17255 % ①目標値を達成 実績値 (増分) [単位] 34509 人	実績値に対する達成度合い 885 % ①目標値を達成 実績値 (増分) [単位] 177 件	実績値に対する達成度合い 1407 % ①目標値を達成 実績値 (増分) [単位] 140710 人	実績値に対する達成度合い % 実績値 (増分) [単位]	
ア. 実績値累計 (ア) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))	→	イvent・マルシェ等の開催にあたっては、新聞等のマスメディアに加え、SNSを通じて周知を行った。	常駐のコミュニティマネージャーを中心にコミュニティを形成することで、一般及び事業者によるマルシェ&キッチンへの出店が進んだ。	毎月2回以上のイベントを実施し、来場者の増加につなげた。	

○交付金事業の効果 (地方創生への効果)

事業効果	事業効果の内容・詳細
①地方創生に非常に効果的であった	本事業を通してコミュニティが形成され、一般及び事業者によるマルシェ&キッチンへの出店が進んだ。その効果もあり、来場者数もKPIを大幅に達成し、にぎわい創出につながった。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる (事業規模の拡大を伴う継続)	R6年度から財産有効活用課からDX課へ運営を移管したことに伴い、県庁32階官民共創スペースと一体的に運営することにより、相乗効果として、新たなコンテンツの創出や集客アップにより、認知度向上や更なる利用拡大を図る。

①追加等更に発展させる (事業規模の拡大を伴う継続)
②事業内容の見直し (一部事業の見直しを伴う継続)
③事業の継続 (事業変更を伴わない継続)
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
① (本事業が地方版) 総合戦略のKPI達成に有効であった	全てのKPIについて累計・R5年度の目標値を達成しており、特にKPI①、②については本事業で整備した施設による直接的な事業効果があったと考えられる。ただし、目標値に対する達成率がKPI①で1500%以上、③で700%以上など、目標値の設定が低かった可能性がある (コロナ禍に計画された事業のため、見込みがたつていないという事情もあるのではないか)。官民共創スペースとの一体的運営等を通して、引き続き賑わいの創出につなげていただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	農政部	担当課名	畜系園芸課（農業技術センター）
-------	-----	------	-----------------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (総事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標－戦略－政策－施策
主要農作物原種生産施設拠点整備	・第3低温貯蔵室	0	2-4-1-(1)園芸・畜産の収益力強化
	・省力管理設備整備		
	・原種栽培設備整備		

事業概要

群馬県における主要農作物（稲麦大豆）生産に必要な優良種子の基となる原種の生産・供給を担っている群馬県農業技術センター原種生産施設の整備を行う。低温貯蔵庫の増設や省力機械の導入、在庫管理のデジタル化などの効率化を行うことで、削減された労力を育種業務に振り向けオリジナル小麦品種の開発を行う。これらの取り組みにより、パン用小麦の作付け拡大や農家所得の向上につなげ、米麦産地である本県の地域活性化を目指す。

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	パン用小麦の作付けによる農業所得増加額（R3年比） 当初値 [単位] 0 万円 計画年月 2021 年 月	パン用小麦の栽培面積拡大 当初値 [単位] 304 ha 計画年月 2021 年 月	有望なオリジナル小麦選抜系統数 当初値 [単位] 0 系統 計画年月 2021 年 月	当初値 [単位]
	KPIの目標値設定	（令和元年度以前の事業のみ） ウ. 令和元年度増加分 （令和2年度以前の事業のみ） ケ. 令和2年度増加分 （令和3年度以前の事業のみ） コ. 令和3年度増加分 （令和4年度以前の事業のみ） ク. 令和4年度増加分 カ. 令和5年度増加分 シ. 上記キ～カ累計（自動表示）	目標値（増分） [単位] [単位] [単位] 634 万円 541 万円 目標値（増分） [単位] 1175 万円	目標値（増分） [単位] [単位] [単位] 41 ha 35 ha 目標値（増分） [単位] 76 ha	目標値（増分） [単位] [単位] [単位] 0 系統 0 系統 目標値（増分） [単位] 系統
KPIの実績値	（令和元年度以前の事業のみ） ソ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]
	（令和2年度以前の事業のみ） タ. 令和2年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]
	（令和3年度以前の事業のみ） チ. 令和3年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]	実績値（増分） [単位] [単位]
	（令和4年度以前の事業のみ） リ. 令和4年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 0 万円	実績値（増分） [単位] 0 ha	実績値（増分） [単位] 0 系統	実績値（増分） [単位] [単位]
テ. KPI増加分の累計（実績）	実績値（増分） [単位] 0 万円 目標値に対する達成度合い 0 % ④目標値の達成は5割未満	実績値（増分） [単位] 0 ha 目標値に対する達成度合い 0 % ④目標値の達成は5割未満	実績値（増分） [単位] 0 系統 目標値に対する達成度合い 100 % ①目標値を達成	実績値（増分） [単位] [単位] 目標値に対する達成度合い %	
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由（理由または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	作付け面積の減少したため農業所得が増加しなかった。二毛作水田における作付け拡大を推進する。 土壌伝染性病害であるなまこ黒穂病が多発したことで、作付け面積が減少したため。二毛作水田において作付け拡大を推進する。 計画どおり4年目に有望な1系統を見込んでいる。（計画において令和7年度からのKPI1上昇を見込んでおり、令和4年度までの実績が0な点は目標のとおりである）				

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
③ 地方創生に効果があった	KPIの目標値は達成できていないが、本事業を実施したことで、原種の貯蔵管理や生産において労力削減ができるなど、一定の効果があったため。

① 地方創生に非常に効果があった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合
⑤ 効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
③ 事業の継続（事業変更を伴わない継続）	二毛作水田における作付け面積拡大と所得向上を図る。オリジナル小麦の育成を継続して行い、計画どおり4年目に1系統を見込んでいる。

① 追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
② 事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③ 事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④ 事業の中止
⑤ 予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
②（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	本事業の目的が、オリジナル小麦品種の開発→小麦の作付け面積増→農業所得を増加することであることから考えると、KPI①～②がまったく増加していない点から、本事業がKPI達成に有効と評価することは難しい。なまこ黒穂病が多発するという外的要因があったことなので、R6年度以降に事業の価値が発揮されることに期待したい。なお、農業に関する事業であるため、対自然であり、かつ効果が出るまでに時間がかかることは理解ができるが、何かしらの指標で成果は示すべきだと考える。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	農政部	担当課名	畜糸園芸課
-------	-----	------	-------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (交付金対象事業費) 単位：円	第2期群馬県総合戦略上の位置づけ
			基本目標－戦略－政策－施策
ぐんまフワパーク ワークショップ等施設整備事業	・フワパーク改修	60,684,000	2-4-6-(1) 観光地域作りの推進、観光関連産業の裾野の拡大、産業基盤強化
	・パーゴラ、植栽等の外構工事		

事業概要

ぐんまフワパークにおいて、園内展示施設の「フワパーク」を改修し、カフェ及びワークショップスペースを創出することで、県産農畜産物を活用したオリジナルメニューの提供や、フワパーク体験等の多彩なワークショップを開催し、四季を通じた魅力あふれる施設とする。また、前庭の植栽を改修することで、花を「見る」だけでなく、花の素晴らしさを「体感」できる施設へリニューアルし、県民に愛着と誇りを持って利用してもらえ、県外からの人の流れも生み出し、赤城山南面の観光拠点の核となり、当該地域の活性化に寄与する。

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4	
		赤城エリアの観光入込客数	フワパークの利用者数	ワークショップ体験料収入	カフェの売上金額	
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]	
		1,157 千人	0 人	0 千円	0 千円	
		計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	
		2023 年 3 月	※西暦 年 月	※西暦 年 月	※西暦 年 月	
KPIの目標値設定	(令和元年度以前の事業のみ)ウ. 令和元年度増加分	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	
	(令和2年度以前の事業のみ)ク. 令和2年度増加分	千人	人	千円	千円	
	(令和3年度以前の事業のみ)コ. 令和3年度増加分	千人	人	千円	千円	
	(令和4年度以前の事業のみ)ク. 令和4年度増加分	千人	人	千円	千円	
	サ. 令和5年度増加分	1,600 千人	52,000 人	19,000 千円	29,000 千円	
	シ. 上記すべてを累計 (自動表示)	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	
		1600 千人	52000 人	19000 千円	29000 千円	
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績値をご記載ください。</small>	(令和元年度以前の事業のみ)ソ. 令和元年度増加分の実績値	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	
	(令和2年度以前の事業のみ)タ. 令和2年度増加分の実績値	千人	人	千円	千円	
	(令和3年度以前の事業のみ)チ. 令和3年度増加分の実績値	千人	人	千円	千円	
	(令和4年度以前の事業のみ)チ. 令和4年度増加分の実績値	千人	人	千円	千円	
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	0 千人	0 人	0 千円	0 千円	
			目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
			0 % ④目標値の達成は5割未満	0 % ④目標値の達成は5割未満	0 % ④目標値の達成は5割未満	0 % ④目標値の達成は5割未満
			実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]	実績値 (増分) [単位]
			0 千人	0 人	0 千円	0 千円
			目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
		0 % ④目標値の達成は5割未満	0 % ④目標値の達成は5割未満	0 % ④目標値の達成は5割未満	0 % ④目標値の達成は5割未満	
ナ. 実績値累計 (ア)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))		令和7年4月リニューアルオープン予定であり、施設の供用前である	令和7年4月リニューアルオープン予定であり、施設の供用前である	令和7年4月リニューアルオープン予定であり、施設の供用前である	令和7年4月リニューアルオープン予定であり、施設の供用前である	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
⑤効果の有無はまだわからない	フワパークを改修することで、従来の展示スペースとしての用途に比較し、施設の利用者数が大幅に増加し、来園者の満足度が向上するとともに、カフェやワークショップの運営による収入も大幅な増加が見込まれるため。 なお、フワパークのリニューアルについては、計画R5年度事業（フワパーク改修）とR6年度事業（本体改修）の2か年度に分けて申請している。そのため、本事業はR5年度に行った整備事業であるが、フワパークがリニューアルオープンする令和7年4月まで供用開始することができない。一方で、KPIについてはR5年度から設定する必要があるため、実績との間に差が生じている。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	フワパーク園内にはフワパークのほか、正面ゲート、鑑賞温室、ショップビレッジ（レストラン・売店）、甘味処など、様々な施設があり、今後これらを改修することで、民間事業者のアイデア・ノウハウを最大限活用しながら、施設の新たな魅力を創出し、集客力と収益性を飛躍的に向上させて、独立採算での施設運営が可能になると見込めるため。

①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	工事の完成がR6.7月、フワパーク自体のリニューアル開業がR7.4月を予定しているため、R5年度の実績から事業効果について評価することはできない。R7年度以降の実績について注視したい。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	環境森林部	担当課名	自然環境課
-------	-------	------	-------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (交付金対象事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標－戦略－政策－施策
自然豊かな県立公園拠点整備(県立赤城公園)	・基本設計・実施設計 ・大沼キャンピングフィールド整備 ・赤城ランドステーション整備	135,550,000	2-4-6-(1) 観光地域づくりの推進、観光関連産業の裾野の拡大、産業基盤強化

事業概要

群馬県のシンボルである赤城山の山頂地域にある県立赤城公園において、「自然」をバリューにしたまちづくりの拠点として、公園中心部に「赤城ランドステーション」を整備し、また雄大な眺望を望める大沼湖畔を臨める静かな森の側に「大沼(おの) キャンピングフィールド」を整備する。これにより、地域特色を最大限引き出すつ、地域資源の持続性を見出しながら、豊かな自然環境の中であらゆる多様な人が交流する場を生み出し、しごとを創出する取り組みとなる。

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	体験型交流拠点施設（現ビジターセンター）の利用者数 当初値 [単位] 41,824 人 ※西暦 2024 年 3 月	赤城山における消費額 当初値 [単位] 10.11 億円 ※西暦 2024 年 3 月	赤城山への路線バス利用者数 当初値 [単位] 13,871 人 ※西暦 2024 年 3 月	アウトドアフィールド（現キャンプ場）の宿泊者数 当初値 [単位] 840 人 ※西暦 2024 年 3 月
	KPIの目標値設定	（令和元年度以前の事業のみ） ク. 令和元年度増加分 （令和2年度以前の事業のみ） ク. 令和2年度増加分 （令和3年度以前の事業のみ） ク. 令和3年度増加分 （令和4年度以前の事業のみ） ク. 令和4年度増加分 （令和5年度以前の事業のみ） ク. 令和5年度増加分 シ. 上記キヘサ累計（自動表示）	目標値(増分) [単位] 0 人 0 億円	目標値(増分) [単位] 0 人 0 億円	目標値(増分) [単位] 0 人 0 億円
KPIの実績値 <small>※見込みでは実績値をご記載ください。</small>	（令和元年度以前の事業のみ） シ. 令和元年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 0 人	実績値(増分) [単位] 0 億円	実績値(増分) [単位] 0 人	実績値(増分) [単位] 0 人
	（令和2年度以前の事業のみ） タ. 令和2年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 0 人	実績値(増分) [単位] 0 億円	実績値(増分) [単位] 0 人	実績値(増分) [単位] 0 人
KPIの累計(実績)	（令和3年度以前の事業のみ） チ. 令和3年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 0 人	実績値(増分) [単位] 0 億円	実績値(増分) [単位] 0 人	実績値(増分) [単位] 0 人
	（令和4年度以前の事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 15,440 人	実績値(増分) [単位] 12 億円	実績値(増分) [単位] 2,502 人	実績値(増分) [単位] 1,623 人
ナ. 実績値累計(シ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	（令和5年度以前の事業のみ） ツ. 令和5年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 5,736 人 目標値に対する達成度合い 48% ④目標値の達成は5割未満	実績値(増分) [単位] 0 億円 目標値に対する達成度合い % ④目標値の達成は5割未満	実績値(増分) [単位] 1,603 人 目標値に対する達成度合い 134% ①目標値を達成	実績値(増分) [単位] 1,343 人 目標値に対する達成度合い 160% ④目標値の達成は5割未満
	テ. KPI増加分の累計(実績)	実績値(増分) [単位] 21,176 人 目標値に対する達成度合い 176% ①目標値を達成	実績値(増分) [単位] 0 億円 目標値に対する達成度合い % ④目標値を達成	実績値(増分) [単位] 4,105 人 目標値に対する達成度合い 342% ①目標値を達成	実績値(増分) [単位] 2,966 人 目標値に対する達成度合い 353% ①目標値を達成
ナ. 実績値累計(シ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))		計画当初の年間利用者数が41,824人、R4年度実績は15,440人増加して26,384人、R5年度実績は25,736人増加して52,120人、2023年にオープンした「道の駅まえばし(赤城)」を玄関口に観光連携などの取組によって赤城山の利用者が増加。		計画当初の年間利用者数が13,871人、R4年度実績は2,502人増加して16,373人、R5年度実績は25,160人増加して41,533人、2023年にオープンした「道の駅まえばし(赤城)」を玄関口に観光連携などの取組によって赤城山の利用者が増加。	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容-詳細
⑤効果の有無はまだわからない	拠点施設のオープンは、大沼キャンピングフィールドが2025年春に、赤城ランドステーションが2025年秋に予定している。オープン後は、赤城山の豊かな自然に囲まれ大沼に面した特別な湖畔キャンプサイトにより、赤城大沼の美しさを感じられる湖畔からの野遊び体験を通じて、リピーターの多い安心感のある空間を提供する。また、公園利用者だけでなく地元住民を巻き込む赤城公園のコミュニティ基盤となる拠点施設として、様々なアクティビティやイベントを通じて、赤城公園エリア全体の回遊性に寄与し、観光案内機能も内包し、強い発信性と集客性を持たせる。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	パブリックコメントの実施による令和4年度事業（基本設計・実施設計）の延長、絶滅危惧植物の移植作業が増えたことによる令和5年度事業（キャンプフィールド整備）の延長で、計画全体が1年度当初計画から遅れているため、令和6年度事業の一部を令和7年度に実施する計画を変更する。

①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	大沼キャンピングフィールドが2025年春に、赤城ランドステーションが2025年秋を予定しているため、R5年度の実績から事業効果について評価することはできない。R7年度以降の実績について注視したい。

デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

○交付金事業の概要【全員】

担当部署名	地域創生部	担当課名	スポーツ振興課
-------	-------	------	---------

交付対象事業の名称	主な整備内容	令和5年度の実績額 (交付金対象事業費) 単位：円	第2期群馬県版総合戦略上の位置づけ
			基本目標-戦略-政策-施策
トレーニング拠点のDX化による地域活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> 本館改修工事 心臓負荷モニタリングシステム リアクション（全身反応測定器） 	50,665,000	2-4-6-(1) 観光地域作りの推進、観光関連産業の裾野の拡大、産業基盤強化

事業概要

デジタル田園都市国家・群馬県に向けた、スポーツ競技力育成のデジタル化事業

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	県内観光消費額	ALSOKぐんま総合スポーツセンターの利用者数	国内トップレベルのチームやプロスポーツクラブなどの合宿件数	科学的トレーニングを実施し、データ計測を行う選手数
	当初値	1,603 億円	432,775 人	0 件	250 人
	計測年月	2024 年 3 月	2024 年 3 月	2024 年 3 月	2024 年 3 月
KPIの目標値設定	（令和元年度以前の事業のみ） ク. 令和元年度増加分				
	（令和2年度以前の事業のみ） ケ. 令和2年度増加分				
	（令和3年度以前の事業のみ） コ. 令和3年度増加分				
	（令和4年度以前の事業のみ） カ. 令和4年度増加分				
	シ. 令和5年度増加分	10 億円	500 人	1 件	200 人
	ソ. 上記キ〜サ累計（自動表示）	10 億円	500 人	1 件	200 人
KPIの実績値	（令和元年度以前の事業のみ） リ. 令和元年度増加分の実績値				
	（令和2年度以前の事業のみ） ル. 令和2年度増加分の実績値				
	（令和3年度以前の事業のみ） ロ. 令和3年度増加分の実績値				
	（令和4年度以前の事業のみ） ハ. 令和4年度増加分の実績値				
	（令和5年度以前の事業のみ） ニ. 令和5年度増加分の実績値		0 人	0 件	-21 人
	ヘ. KPI増加分の累計（実績）				
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	観光消費額については現時点で未公表。工事完成がR6年3月であったことから、純粋増分についての把握はR6年度以降となる。	工事完成がR6年3月であったことから、純粋増分についての把握はR6年度以降となる。	コロナ禍以降、宿泊棟が休止中であり合宿の受け入れ体制が整っていない。	県スポーツ協会における周知徹底を求めるとともに、測定メニューをアスリート目線で変更できるよう工夫することも求めたい。	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
⑤効果の有無はまだわからない	施設リニューアルが令和5年度末であったため、今後、効果がどの程度の効果が生じるのか定期的に把握したい。

①地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合
⑤効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

今後の方針	今後の方針の理由
⑤予定通り事業終了	当面は、現在の体制を維持し、ソフト面で、ナショナルトレーニングセンターとのハイパフォーマンスセンター（HPSC）連携を進める。

①追加等に変更される（事業規模の拡大を伴う継続）
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	工事の完成がR6.3月であるため、R5年度の実績から事業効果について評価することは難しい。施設の整備自体は完了しているようなので、R6年度以降の実績について注視したい。